

サステナビリティへの想い

OUR POLICY

野村不動産グループのサステナビリティ

当社グループのサステナビリティポリシー

-2050年のありたい姿-

野村不動産グループでは、2050年に向けて、
私たちならではのサステナビリティのあり方、
進むべき道を示す指針となるサステナビリティポリシー

「Earth Pride —地球を、つなぐ—」を策定しました。

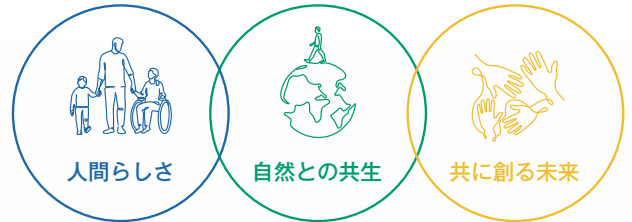
地球をよりよい環境で未来へつないでいくために、
企業として果たしたい役割を込めたこの言葉は、
私たちが大切にしていきたい

「人間らしさ」「自然との共生」「共に創る未来」の
3つのテーマをベースにしています。

SUSTAINABILITY POLICY

Earth Pride

地球を、つなぐ



私たちが大切にしている3つのテーマ



人間らしさ

テクノロジーがますます発展し、人々の暮らしと融合する世の中において、人間の存在意義や人の幸せとは何かを問い続ける。
人と人がお互いを支えつながり合う、人間らしい暮らしを提供し、誰ひとり取り残さない社会の実現に貢献する。



自然との共生

未来を生きる子どもたちと自然豊かな地球のために、人間の経済活動をもう一度見つめ直し、本来あるべき美しい環境との共生を実現する。地球の限りある資源を大切にしながら、自然と人間との関係をより良いものへと変えていく。



共に創る未来

多種多様な組織・人が共に手をとりあい、それぞれの枠を超えて今までにない価値を生み出す。そして、背景や価値観の異なる人々が個性を活かし合う創造的な社会をめざし、暮らし・ビジネス・働き方において、常識にとらわれず挑戦し続ける。

2030年までに取り組むべき5つの重点課題(マテリアリティ)

私たちが、2050年のありたい姿を実現するために、「社会と社員」「気候変動と自然環境」に向き合いながら、
2030年までに優先して取り組むべき課題として、以下の5つの重点課題を特定しました。

社会と社員



ダイバーシティ&
インクルージョン



人権



気候変動と自然環境



脱炭素



生物多様性



サーキュラーデザイン



社会と社員

人や街・コミュニティを未来へつなげていく企業グループとして、多様な人々のバックグラウンドや価値観を尊重したライフスタイルの実現を目指します。

また、すべての事業活動において、人々の尊厳と基本的人権を尊重し、組織や業態を超えた「共創」の取り組みを推進します。



DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ&インクルージョン

D&I推進方針の施策や、多様な人材の活躍を促進することを通じて社会ニーズに応えられる商品・サービスを提供。



多様な働き方の促進

センターピンとして掲げる、有給・育休の100%取得への取り組み

[VIEW MORE](#)



多様な人材の活躍促進

性別・障がい・置かれる状況・年齢などによらない活躍の実現

[VIEW MORE](#)



インクルーシブデザイン・サービスの提供

多様な背景・価値観を持つ人々が参画し、まだ見ぬ価値を創造する

[VIEW MORE](#)



エンゲージメントの向上

1on1ミーティングの実施を通じた全社員活躍

[VIEW MORE](#)



HUMAN RIGHTS 人権

私たちに関わっていただくすべての方々とともに、ビジネスを進めるための体制づくりに取り組み、良好なコミュニケーションを一層深めていきます。



人権方針策定・人権デュー・デリジェンス

人権尊重のための体制づくり

[VIEW MORE](#)



調達ガイドライン

ステークホルダーとのエンゲージメント

[VIEW MORE](#)

気候変動と自然環境

世界がひとつになって向き合っていくべき気候変動課題と自然環境保全。これらの解決に向け、「脱炭素」「生物多様性」「サーキュラーデザイン」を推進。

これまでトライしてきた環境面での取り組みを継続していくことで、CO₂排出総量削減に貢献し、それにより生物多様性を守りながら、循環していく社会をカタチにしていきます。



DECARBONIZATION

脱炭素

野村不動産グループは、まず「省エネ」「低炭素化」に取り組みながら、「再エネ」の導入も推進。サプライチェーン全体でCO₂総排出量の削減を実現していきます。



ZEH-(M)/ZEB oriented 水準の建物を開発

総合的な環境負荷低減の観点から

[VIEW MORE](#)



建物の木質化・木造化

低炭素素材である木材を利活用

※ 一部物件で対応

[VIEW MORE](#)



創エネ・再生可能エネルギー

首都圏の戸建て住宅にメガソーラー発電と同規模の太陽光発電を導入するバーチャルメガソーラーCや物流倉庫(ランドポート)での創エネルギーを実施

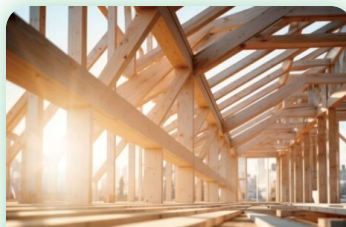
[VIEW MORE](#)



BIODIVERSITY

生物多様性

「循環する森づくり」を通じ、豊かな自然環境を保全するとともに私たちが開発する建物に、そこで収穫・製材した国産木材を活用するなど、CO₂吸収や森林機能の向上に貢献します。



民間事業者で初めて農林水産省と「建築物木材利用促進協定」を締結

国産木材のサプライチェーン構築と森林資源活用を推進

[VIEW MORE](#)



森をつなぐ、東京プロジェクト

東京奥多摩の森づくりを通じた生物多様性への貢献

[VIEW MORE](#)



CIRCULAR DESIGN

サーキュラーデザイン

私たちの事業の中で推進している、建物の長寿命化、シェアリングを取り入れた街づくりやサービス、廃棄物排出量の削減、再資源化への取り組みなどを通じ、脱炭素社会、循環型経済に貢献していきます。



「re:Premium (リ・プレミアム)」

業界標準を超えるマンションの長期保証を実現した大規模修繕工事

[VIEW MORE](#)



「アトラクティブ30」

外壁・防水工事等に高耐久部材・工法を採用し、マンションの大規模修繕長周期化に貢献

[VIEW MORE](#)



サテライト型シェアオフィス 「H'T (エイチワンティー)」

必要な時に必要なワークスペースを提供する

[VIEW MORE](#)



使用済みPETボトルの再利用

飲料メーカーとの共創によるボトルtoボトルの実証実験開始

[VIEW MORE](#)



野村不動産グループの成長と持続可能な社会の実現に向けて

野村不動産グループは、2020年8月から「2050年のありたい姿」を検討してきました。
私たちにできることは何だろう。

社内の若手から経営層、社外のようなステークホルダーの声を集め、ひも解き、築き直すことで、
人間・自然・未来のために私たちが事業で貢献できることをもう一度考えました。

生まれたのが、

「Earth Pride 地球を、つなぐ」

私たちならではのサステナビリティのあり方、
進むべき道を示す指針となる言葉です。

私たちの存在意義は、「人を大切にする会社」であり、
「新たな価値を創造する会社」であること。

これからもその想いはそのままに、人を中心に考え、未来を切り拓いていく。
私たちが先人たちから受け継いできた誇れる地球を、次世代へつないでいきます。

サステナビリティポリシー策定のプロセス

サステナビリティポリシー（2050年のありたい姿）とマテリアリティ（2030年の重点課題）の策定プロセスにおいては、
「どのような価値を提供したいのか」などの意見を集めるワークショップを社内で開催したほか、
経営層へは「マテリアリティ候補のアンケート」による意見収集を行いました。
また、社外のようなステークホルダーに対しても同様のアンケートにより意見を頂戴しております。

STEP
01

重点課題(マテリアリティ)
要素の抽出

参加人数 **183** 名

STEP
02

マネジメント層からの
意見収集

参加人数 **214** 名

STEP
03

ステークホルダーの
皆さまからの意見収集

参加人数 **42** 名

STEP
04

サステナビリティ委員会にて
議論

延べ **20** 名超え

社内外 約 **460** 名の方々の参加により策定

[VIEW MORE](#)